

1. 医機連の新ホームページと新しいコンテンツのご紹介

薬事工業生産動態統計をはじめとする保健医療に関する数多くのオープンデータはとて有用ですが、入手できるオープンデータの多くは excel や csv 形式の汎用性のある表です。そのために所望のデータにアクセスするには時間がかかり、また、図表化して理解しやすくするにはデータの構造を理解して前処理を施す等、様々な作業が必要になります。

そこで、医機連の HP*1 が新しくなったことに伴い、医機連内の MDPRO ページ(「MDPRO データ集」)を新たに設け、容易に、オンデマンドで必要な情報にアクセスできるように、まず、サンプルとして、改正以前の 12 年間(平成 18 年～平成 30 年)の薬事工業生産動態統計に関するコンテンツを投稿しました。

2. コンテンツの起動方法

医機連の HP の上段にある「MDPRO」から「MDPRO データ集*2」を選択し、「国内医療機器市場の推移(平成 18 年～平成 30 年)」を選択すると、コンテンツが起動します。



図 1：コンテンツの起動方法

3. コンテンツの画面の説明

コンテンツの画面は、左側にフィルタ、右側に各項目の結果(図 2 の点線で囲った部分)から構成されます。各棒グラフの上に表示されている数字は、各棒グラフの合計値になります。



図 2：オンデマンドで薬事工業生産動態統計にアクセスするコンテンツの画面

一般的名称コードとは、右に示すように、上位 2 桁を大分類、上位 4 桁を中分類、上位 6 桁以降を小分類としたものです。大分類より中分類、中分類より小分類が、医療機器をより特定できるコード体系です。

医療機器の種類とは、各大分類を用途別に、治療系/診断系/その他と、右に示すように区分しています。

02	画像診断システム
0202	診断用X線装置
020202	一般X線撮影装置

	大分類名称
診断系医療機器	画像診断システム、生体現象計測・監視システム、医用検体検査機器、画像診断用X線関連装置及び用具、施設用機器
治療系医療機器	生体機能補助・代行機器、処置用機器、治療用又は手術用機器、鋼製器具
その他医療機器	眼科用品及び関連製品、歯科材料、家庭用医療機器、歯科用機器、衛生材料及び衛生用品

3.特定の医療機器に関する情報を調査する方法

例えば、『一般 X 線撮影装置』の国内市場規模を調査したい場合、二通りの方法があります。一つ目の方法は、図 3 に示すように、大分類フィルタで「画像診断システム」だけにチェックを入れ、次に中分類フィルタで「診断用 X 線装置」だけにチェックを入れ、最後に小分類フィルタで「一般 X 線診断装置」だけにチェックを入れると、図 3 の右側に示すように平成 26 年～平成 30 年の国内市場規模の金額が表示されます。各棒グラフの上に表示されている数字は、一般 X 線撮影装置の各年の国内市場規模の金額となります。

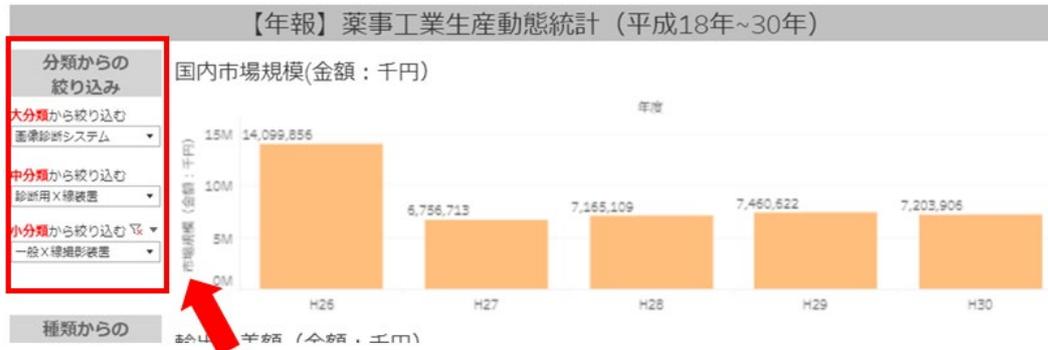


図 3：コンテンツの使用例 1

もう一つの方法は、小分類フィルタで「(すべて)」のチェックを外した後、テキスト入力欄に「一般」と入力すると候補となる医療機器が表示されるので、「一般 X 線診断装置」にチェックを入れると図 3 と同様に表示されます。



図 4：コンテンツの使用例 2

さらに、図 5 に示すように、縦軸をクリックし表示されるポップアップから、

のアイコンをクリックして、

「全データ」タブを選択すると、データをテキスト形式でダウンロードできます。



図 5：表示されたデータのテキスト出力

4. 今後について

今回は、医療機器業界として使用頻度が高い薬事工業生産動態統計をサンプルにコンテンツ化してみました。調査方法が改正された令和元年(2019年)以降の薬事工業生産動態統計では、より詳細な情報を入手できます。さらに、薬事工業生産動態統計以外にも、NDB オープンデータや病床機能報告等の医療機器に関連する有用なオープンデータもたくさんありますので、今後もご意見をお聞きしながら継続的に検討をして、コンテンツを拡充していきたいと考えています。

- *1. <https://www.jfmda.gr.jp/>
- *2. https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_childcoat/market-trend/

(医療機器政策調査研究所 茂木淳一 記)

医療機器政策調査研究所からのお知らせ  @JFMDA_MDPRO
Twitter で医療機器産業に関連するニュースを配信中。医機連トップページからフォローできます。